



町内の事業者支援事業

平泉たべ・のり応援チケット追加販売

町が新型コロナウイルスの影響で利用客の減少などの影響が出ている町内事業者を支援するため発行している「平泉たべ・のり応援チケット」の追加販売を8月7日町役場特設会場で行いました。

チケットは1セット3,000円のチケットを2,000円で購入し差額は町が負担するものです。2回目となる販売では前回を上回る4,500セットを用意し、販売開始前から会場にはチケットを買い求める人の長い列が出来ました。



小学生の立派な字に感謝

新小金沢橋で名板の取り付け式

町道祇園線改良工事の一環で建設していた新小金沢橋が完成し、7月29日に現地で平泉小学校の児童が揮毫した橋名板の取り付け式を執り行いました。

同校の5、6年生から作品を募集して、5年生の千葉芽衣さんの「こがねざわはし」、5年生の千葉幸大さんの「一級河川小金沢川」、6年生の東郷亜紀さんの「令和2年7月完成」がそれぞれ選ばれました。式では青木町長の揮毫した「小金沢橋」の名板を含め、4つの名板を欄干に取り付けました。



飲食・宿泊業の対策状況を確認

新型コロナウイルス対策状況パトロール

町内の飲食や宿泊、タクシー事業者などがそれぞれ定めている感染防止ガイドラインに沿った対策に取り組んでいるか確認するパトロールを町と平泉商工会が実施しました。

お盆の期間を前に8月11日にパトロールを行った店舗では、職員の毎朝の検温や店舗の換気、消毒液の設置など対策状況を確認しました。感染対策を確認した事業者には「対策実施中」の掲示物と消毒用のアルコール、マスクを配布しました。

林業を取り巻く課題解決に向けて

一関地方森林組合が要望書を提出

一関地方森林組合の小山隆人代表理事組合長が8月12日に町役場を訪れ、林業振興に関する要望書を青木町長に提出しました。

要望は町に交付されている森林環境贈与税の用途について提言する内容で、▷法改正で可能となった森林所有者情報の開示▷現場作業員の確保▷林業従事者に対する給付金▷木材の利用促進▷小中学生を対象とした木育の実施一などの要望項目が含まれています。



力を合わせて1つの作品が完成

親子木工教室

木のぬくもりに触れながら緑の大切さを学ぶ「親子木工教室」が8月1日、西行桜の森木工芸館遊鶴で開催されました。

教室には小学生と保護者5組11人が参加。参加者は、ひらいずみ山倶楽部会員の指導のもと、金づちやのこぎりを使って制作を開始。木のぬくもりを感じながら、貯金箱や本立てなど思い思いの作品作りに取り組みました。

また作業終了後にはカレーを食べるなど、家族で楽しい一日を過ごしていました。



運行100回の節目を迎える

14区地域支え愛の会による無料送迎車

8月18日、14区地域支え愛の会が交通手段のない高齢者を対象に2016年から取り組んでいる無料送迎車の運行が100回を迎えました。

100回目の記念セレモニーが14区公民館前で開催され、出席した齋藤副町長は「今後も後継者を育てながら末永く続けてほしい」と激励し、参加者からは「自分の目で見て買い物ができるのはありがたいし楽しい」とボランティアに対する感謝の言葉が送られました。



75年の節目、先人の冥福を祈る

平泉町戦没者追悼式

町主催の戦没者追悼式が8月7日、平泉ホテル武蔵坊でしめやかに営まれました。

今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し、遺族や一般町民、来賓ら例年の約3分の1となる29人が式に参列。黙禱に続き、町遺族会の加藤寛義会長が「戦争の悲惨さを後世に語り継ぐ役目を果たす」と語りました。最後に参列者全員が祭壇に白菊を手向け手を合わせ、戦地で命を落とした先人の冥福と世界の恒久平和を祈りました。